

YAMANASHI PREFECTURAL UNIVERSITY

GRADUATE SCHOOL OF
NURSING



公立大学法人

山梨県立大学

Yamanashi Prefectural University

大学院
看護学研究科

2025年度
大学院案内





C o n t e n t s

- P01 ごあいさつ
- P02 教育理念・目的
- P03 博士前期課程のカリキュラム
- P04 博士前期課程の履修について
- P05 博士前期課程の専門分野
- P06 博士前期課程修了後の進路
- P07 大学院ってこんなところ！
- P09 博士前期課程で学ぶ Q&A
- P10 インフォメーション（博士前期課程）
- P11 博士後期課程のカリキュラム
- P12 博士後期課程在院生からのメッセージ
- P14 インフォメーション（博士後期課程）

>> Salutation

+ ごあいさつ

異論と向き合い高い価値創造力を育む

大学院看護学研究科は、看護実践の場や高等教育機関において、高い教育・研究能力を発揮できる専門職業人や指導者を養成しています。大学院課程では高度で先端的な専門科目を学ぶとともに、自らの調査・実験・検証に基づく研究を行いその成果を学内外で発表し意見交換をしていくことが重要になります。他者の異論に出合い、対峙し、検証を繰り返しながら研究の質を高めていくことで、未知の課題にも対応できる柔軟な発想力と高い価値創造力を身につけることができます。皆さんには、日々高度化する看護分野を牽引できる俊才とならんことを期待します。



学長
早川 正幸



大学院看護学研究科長
米田 昭子

高度看護実践者の育成を目指します

山梨県立大学大学院看護学研究科は、平成14年に修士課程を開設し、130名を超える修了生を輩出し、令和3年からは、博士前期課程、博士後期課程、5年一貫の教育課程になりました。

今後、ますます複雑かつ多様化する社会に応答し、保健・医療・福祉の現場における諸課題を解決していくために看護実践の知を確かなものとし、実践現場に還元できるよう、教員と学生が相互に学び合い、討議し、看護追究していきたいと思いを。

どうぞ、皆さん、知識、技術の創造、成長を目指して、一步を踏み出してください。太陽の輝く山梨で、看護を語り合うことを楽しみにしています。

＋教育理念・目的



看護学の理論および応用を教授研究し、その深奥を
きわめて文化の進展に寄与するとともに、高度専門職業人、看護学教育者および看護学研究者等の人材
を育成し、もって人々の健康と福祉の向上に寄与することを目的とします。

博士前期課程

博士前期課程の教育目標

1. 看護の特定分野における卓越した看護実践能力を育成する。
2. 保健医療福祉の連携・協働を促進するための
総合的な調整能力を育成する。
3. 看護サービスの質向上のための教育的役割が果たせる能力を育成する。
4. 看護実践の質向上に寄与する研究に必要な基礎的な能力を育成する。

こういう人を求めています

- ・ 看護学の学修及び看護の実践から生じた問題意識を持ち、
大学院で学修・研究する明確な意思と、そのための必要な学力がある人。
- ・ 看護実践の開発・改善に向けて学究的に取り組もうという意欲を持った人。
- ・ 看護学と看護実践を高く価値づけ、看護界のリーダーとして活動する意欲を持った人。

カリキュラムの特色

本研究科は、看護の各専門分野の高度看護実践者、看護学教育者、看護学研究者を育成するために、
専門看護師コースと研究コースを置き、高度な実践能力と実践の場における研究能力、及び看護の理
論とその構築について探求できるように教育課程を編成します。

博士前期課程

修業年限：2年
学位：修士（看護学）

【定員10名】

博士後期課程

博士後期課程の教育目標

1. 高度看護実践者として、看護ケアの開発や地域包括ケアシステムの
改革を志向した研究が実施できる能力を育成する。
2. 高度看護実践者として、看護実践の知の体系化と発展に寄与する
研究を自立して実施できる能力を育成する。
3. 高度看護実践者として、高度な看護実践力と研究力を基盤に、
専門的知識・技術と教育指導力をもって質の高い教育を展開できる
能力を育成する。

こういう人を求めています

- ・ 看護実践や保健医療の改革を志向し、論理的思考と柔軟な発想力を有している。
- ・ 基礎的な研究能力を有し、自立して研究に取り組む意欲を有している。
- ・ 質の高い看護実践者、看護教育者を強く志望しており、博士後期課程における学修の基盤となる
専門知識・技術ならびに看護指導力を有している。
- ・ 看護学の発展に必要な学際的な交流ができるコミュニケーション力や関係構築力を有している。

カリキュラムの特色

臨床開発看護学・地域包括ケア看護学・母子育成看護学の各科目における看護実践の探究だけでなく、
3つの領域を相互に関連させながら学ぶことで広域的な視座から新たな看護ケアの開発や地域包括ケア
システムの改革に向けた実践看護学を創造・発展させることを目指しており、科目構成は、共通科目・専
門科目・演習科目・研究科目となっています。

博士後期課程

修業年限：3年
学位：博士（看護学）

【定員3名】

+ 博士前期課程のカリキュラム

【研究コース】

共通科目（必修）

看護学研究法（2単位）・研究倫理特論（1単位）

共通科目（選択科目）または主専門分野以外の専門分野の科目から8単位以上修得すること

理論看護学、看護政策学、看護倫理学、看護継続教育論、看護管理論、
コンサルテーション、療育相談論、地域環境保健論、病いの社会学的現象論、
看護統計学、臨床薬理学、フィジカルアセスメント、病態生理学
（各2単位）

専門分野科目

主専門分野の科目から20単位を修得すること

基礎看護学／地域看護学／在宅看護学／精神看護学／老年看護学／慢性期看護学／
急性期看護学／助産学／小児看護学／感染看護学／がん看護学／看護管理学
特論Ⅰ～Ⅳ：各2単位 演習：4単位 特別研究：8単位

【専門看護師コース】

共通科目（必修）

看護学研究法（2単位）・研究倫理特論（1単位）

共通科目（選択科目）または主専門分野以外の専門分野の科目から12単位以上修得すること
ただし*印の科目から6単位以上、◎印の科目から6単位以上修得すること

*理論看護学、*看護政策学、*看護倫理学、看護継続教育論、看護管理論、
*コンサルテーション、療育相談論、地域環境保健論、病いの社会学的現象論、
看護統計学、◎臨床薬理学、◎フィジカルアセスメント、◎病態生理学
（各2単位）

専門分野科目

主専門分野の科目から26単位を修得すること

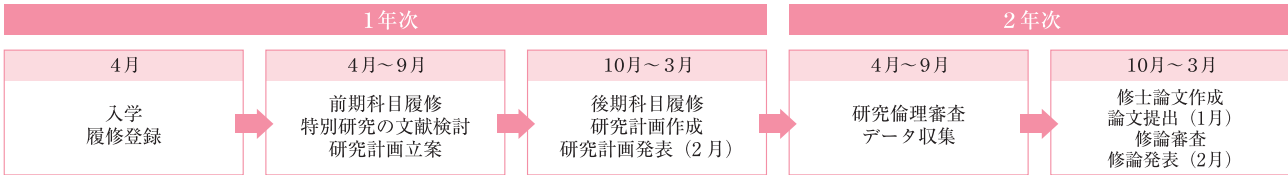
在宅看護学	慢性期看護学	急性期看護学	感染看護学	がん看護学
特論Ⅰa～Ⅴa：各2単位 演習Ⅰa・Ⅱa：各2単位 実習Ⅰ・Ⅱ：各2単位 実習Ⅲ・Ⅳ：各3単位 特定課題研究：2単位	特論Ⅰa～Ⅳa：各2単位 演習Ⅰa～Ⅲa：各2単位 実習Ⅰ～Ⅴ：各2単位 特定課題研究：2単位	特論Ⅰa～Ⅳa：各2単位 演習Ⅰa～Ⅲa：各2単位 実習Ⅰ・Ⅱ：各4単位 実習Ⅲ：2単位 特定課題研究：2単位	特論Ⅰa～Ⅴa：各2単位 演習Ⅰa・Ⅱa：各2単位 実習Ⅰ・Ⅱ：各3単位 実習Ⅲ・Ⅳ：各2単位 特定課題研究：2単位	特論Ⅰa～Ⅲa：各2単位 演習Ⅰa～Ⅳa：各2単位 実習Ⅰ～Ⅲ：各2単位 実習Ⅳ：4単位 特定課題研究：2単位

※ 研究コース・専門看護師コースともに年度によって開講しない分野があります。

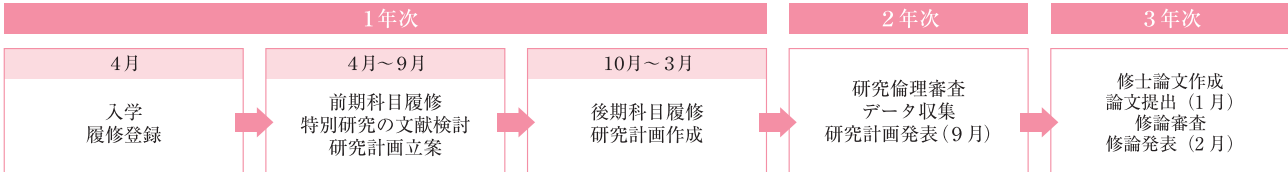
博士前期課程の履修について

【入学から修了までの基本プロセス】

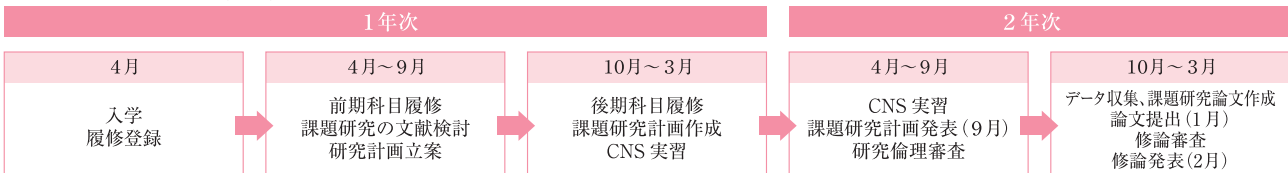
■ 研究コース (2年)



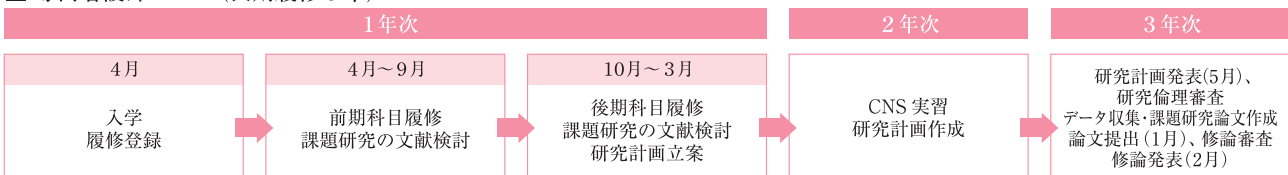
■ 研究コース (長期履修3年)



■ 専門看護師コース (2年)



■ 専門看護師コース (長期履修3年)



【授業科目及び単位数】

科目区分		科目	配当年次	単位数		履修方法・修了要件
				必修	選択	
共通科目	必修科目	看護学研究法	1	2		(研究コース履修方法) 1. 共通科目の必修科目から3単位を修得すること。 2. 選択する専門分野の科目から選択科目20単位を修得すること。 3. 共通科目又は選択する専門分野以外の専門分野の科目から選択科目を8単位以上修得すること。 (研究コース修了要件) 31単位以上を修得し、かつ修士論文の審査と最終試験に合格すること。 (専門看護師コース履修方法) 1. 共通科目の必修科目から3単位を修得すること。 2. 選択する専門分野の科目から選択科目26単位を修得すること。 3. 共通科目又は選択する専門分野以外の専門分野の科目から選択科目を12単位以上修得すること。 ただし*印の科目から6単位以上、◎印の科目から6単位以上修得すること。 (専門看護師コース修了要件) 41単位以上を修得し、かつ特定課題研究論文の審査と最終試験に合格すること。
		研究倫理特論	1	1		
	選択科目	理論看護学*	1・2		2	
		看護政策学*	1・2		2	
		看護倫理学*	1・2		2	
		看護継続教育論	1・2		2	
		看護管理論	1・2		2	
		コンサルテーション*	1・2		2	
		療育相談論	1・2		2	
		地域環境保健論	1・2		2	
		病いの社会的現象論	1		2	
		看護統計学	1		2	
		臨床薬理学◎	1・2		2	
		フィジカルアセスメント◎	1・2		2	
		病態生理学◎	1・2		2	
専門科目	研究コース	特論Ⅰ	1		2	
		特論Ⅱ	1		2	
		特論Ⅲ	1		2	
		特論Ⅳ	1		2	
		演習	1		4	
		特別研究	2		8	
	専門看護師コース	特論、演習	1		14	
		実習	2		10	
		特定課題研究	2		2	

+ 博士前期課程の専門分野

01

基礎看護学

内田一美 教授

人々の生活や健康課題が多様化し、看護が活躍する場所や役割が拡大しています。一人ひとりの健やかに生きる力を支えるために、人間の理解や看護の本質について探求し続け、社会の動きに即した質の高い看護が実践できる看護職、および研究者・教育者となる人材の育成を目指します。

02

地域看護学

大倉美佳 教授

地域特性に応じた、かつ予防の観点から住民主体の互助を活かした健康づくり活動を展開し、地域の健康政策を立案できるとともに、医療経済的視点から実践評価できる地域看護の実践者・研究者・教育者となる人材の育成を目指します。

03

老年看護学

渡邊裕子 教授

高齢化の急速な伸展と家族介護力の低下などにより、高齢者の療養・生活の場が多様化している。地域で生活する健康な高齢者から、加齢や疾病による生活障害のために在宅や施設で療養生活する要介護高齢者まで、本人とその家族をも含めた生活の質(QOL)の維持・向上に向けて支援ができる人材の育成を目指します。

04

助産学

平田良江 教授

女性の生涯にわたる心身の健康維持・増進と、妊娠期から産褥期、胎児期から乳幼児期までの女性と子ども、家族にとっての安全で快適な出産と育児支援に対する高度の助産ケアができる助産師、及び助産技術・ケアの開発・発展のための研究者・教育者となる人材の育成を目指します。

05

小児看護学

宗村弥生 教授

小児看護学領域では、あらゆる健康レベルの子どもとその家族を対象に、成長発達や小児看護を理解し、実践するための諸理論を学びます。子どもの最善の利益を基本とした小児看護の質の向上に寄与する人材の育成を目指します。

06

看護管理学

鄭佳紅 教授

保健・医療・福祉の場で必要とされる看護サービスを効果的・効率的に提供するための知を探究します。キーワードは、「看護サービス」「質評価と改善」「人材育成」「組織とシステム」「変革と創造」などです。職位にかかわらずリーダーシップ、マネジメント能力を発揮し、目標達成に向けて行動できる高度な看護管理実践能力を有する人材の育成を目指します。

07

在宅看護学

泉宗美恵 教授

在宅におけるあらゆるライフステージにある療養者や家族の現状とニーズおよび取り巻く社会の動向を的確に捉え、人々の生活の質(QOL)向上を目指した在宅における高度看護実践力、ケアマネジメント力、先を見越した在宅ケアシステムの構築等に資する質の高い在宅看護実践者および研究者、教育者の育成を目指します。

08

慢性期看護学

米田昭子 教授

慢性病を持つ人やその家族が抱える複雑で解決困難な問題を的確に判断し、その人々のセルフケア支援及び、生活の質(QOL)の向上を目指した高度な看護実践者および慢性期看護の開発・発展のための研究者・教育者となる人材の育成を目指します。

09

急性期看護学

渡辺かつみ 教授

医療技術の革新や高度化に伴い、重症患者や高齢者に対して高度な侵襲治療処置が施行される状況にあります。短期間に侵襲的治療等を受け生命の危機的な状況にある患者とその家族の健康問題を的確に判断し、生命維持・回復及び生活の質(QOL)の向上を目指した看護学の研究能力や、高度な看護実践能力を有する人材の育成を目指します。本分野では現在17名のCNSが誕生し活躍しています。

10

感染看護学

武井泰 准教授

新興・再興感染症の出現や医療関連感染の問題に対応し、地域および施設での広い看護活動において、感染症者および易感染者のケア、感染管理ならびに感染対策の推進に専門的に携わることのできる高度な看護実践者および研究者・教育者の育成を目指します。

11

がん看護学

前澤美代子 教授

がん患者や家族の複雑で解決困難な問題を全人的な視点で判断し、がん治療のケアの側面とその人の持てる力を活かすケアの側面を融合し、がんとともに生きること、死に近づくときまでその人らしくすごすこと、がん患者の家族へのケアを行うことができる高度な看護実践者および研究者・教育者の育成を目指します。

研究コース

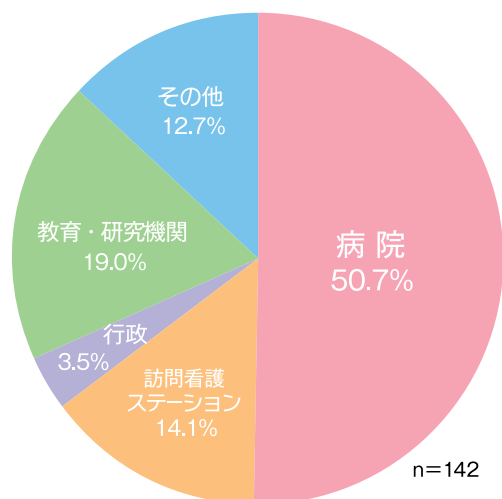
専門看護師コース

※精神看護学は開講準備中です。

+ 博士前期課程修了後の進路

- ◆ 病院に専門看護師・看護職者として勤務
- ◆ 訪問看護ステーションに専門看護師・看護職者として勤務
- ◆ 認定看護管理者の資格を有し、看護管理者として勤務
- ◆ 行政職として県や市町村に勤務
- ◆ 教員として大学や研究機関、専門学校に勤務
- ◆ 看護職として国際保健分野で活躍
- ◆ 大学院博士後期課程進学 など

● 修了生の就職先

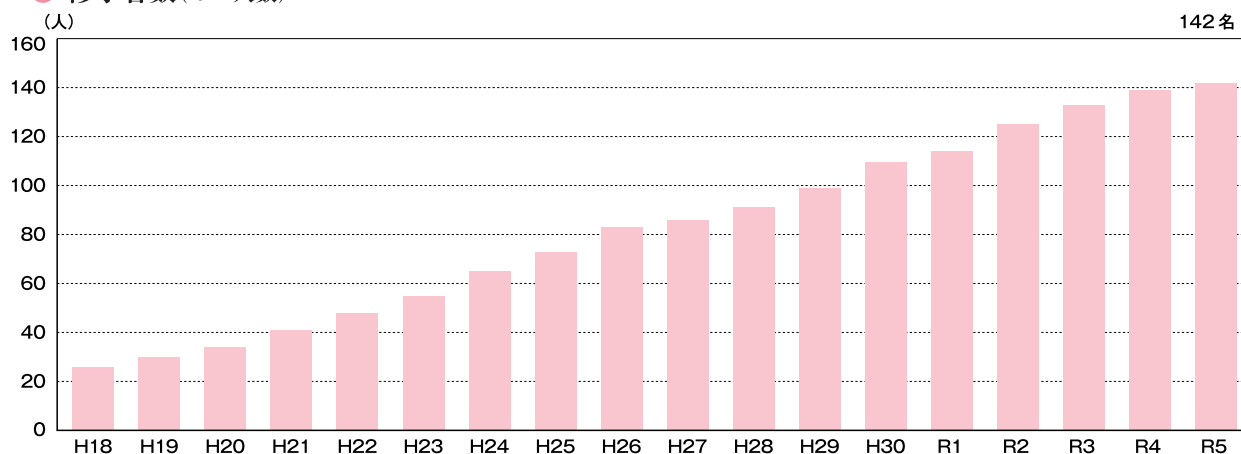


看護学研究科の修了生の就職実績です。
みなさん、それぞれのキャリアを歩んでいます。本学の教員として活躍されている方もいます。

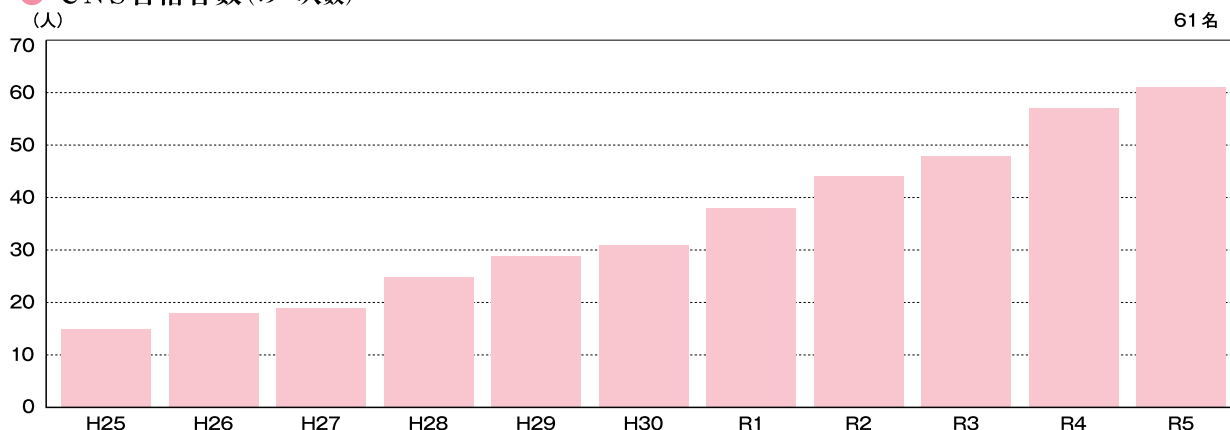


病院	72人
訪問看護ステーション	20人
行政	5人
教育・研究機関	27人
その他	18人

● 修了者数(のべ人数)



● CNS合格者数(のべ人数)





在院生が教える

大学院ってこんなところ！

大学院への進学を考えているあなたへ、先輩たちのメッセージをお届けします。

● 在院生からのメッセージ

学ぶ楽しさを知ることができる場所

博士前期課程1年(在宅看護学) 秋山 昭子さん

退院支援看護師として働く中で、その人らしく本人が望む生活に向けた支援につなげていきたいと思い、大学院進学を決めました。仕事との両立は大変ですが、それ以上に仲間との関わりや新たな気づきを得ることができ、学ぶ楽しさを感じています。看護について立ち止まり、考えること、学んだことを職場で実践できることは働きながら学んでこそだと思います。皆さんも興味を持ったタイミングを大切に。一歩を踏み出してほしいと思います。



もう一歩前へ進むために

博士前期課程1年(助産学) 姫野 由香さん

私は、地域でこどものいる家庭を支援する仕事に携わっています。その中で、悶々とした思いを抱き、それを払拭するための答えを求めて、大学院への進学を決意しました。働きながらの学生生活は、決して“楽”ではありませんが、改めて学べることへの喜びと、“楽しさ”を実感しています。また、同じ志を持って学ぶ仲間や先生方から受ける様々な刺激は、大きな活力になっています。



「学ぶ」という贅沢な時間を大切にしたい

博士前期課程2年(慢性期看護学) 鈴木 みどりさん

私は都内の病院に勤務しながら大学院に通っています。仕事と学業の両立は想像以上に大変ですが、先生方をはじめ同期生や先輩方に支えていただき学び続けることができています。仕事と両立するメリットは、患者さんに元気をもらえること、大学院での学びをすぐに実践に活かすことができる点だと思います。学びを進める中で、自分の知識の偏りや論理的思考力の不足に心が折れそうになりますが、真摯に向き合い続けたいと思います。



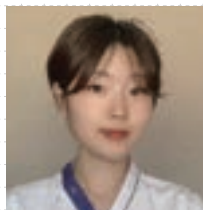
がん看護の魅力に惹かれて

博士前期課程2年(がん看護学) 渡邊 優さん

私は2017年に緩和ケア認定看護師となり、患者さんやご家族に関わってきましたが、がん看護専門看護師を目指して、大学院進学を決意しました。長期履修制度を利用して、仕事をしながら学んでおります。大学院と仕事の両立は大変なこともありますが、先生方や職場、家族の理解と協力をいただきながら、それに勝る貴重な経験や多くの学びを得ることができています。これからもこの充実した大学院で看護を探究していきたいと思っています。



修了生の紹介



令和6年3月
助産学分野修了
山梨大学医学部附属病院勤務

清水 有紗さん

大学院での学びを活かす日々

大学院での学修は大変でしたが多くの学びを得られ、自分を成長させてくれる時間でした。修了してからも、大学院で深めた自分の大切にしたい看護を実践できていると日々感じています。考える楽しさを大学院で学んだため、これからも活かして、臨床に還元していきたいです。



令和6年3月
小児看護学分野修了
甲府看護専門学校帝京大学短期大学勤務

渡邊 由香さん

小児看護の発展を目指して

大学院では、NICUにおけるFamily Centered Careを中心に様々な新しい知見を得ながら学びを深め、修士論文の作成に取り組み、自身の教育観も大きく磨かれました。今後は、その学びや教えを活かし、基礎教育の現場から小児看護の発展に向けた課題に、微力ながら取り組んでいこうと思います。



令和5年3月
急性期看護学分野修了
信州大学医学部附属病院勤務

安田 好江さん

知識は経験を越える

2年間休職し覚悟を決めて進学した大学院で、看護観や倫理観が変わりました。大学院での学びはこれまでの経験を越え、臨床現場での実践と研究を通じて看護を探究する力になりました。今後も学び続けたいと思います。



令和3年3月
看護管理学分野修了
山梨県立中央病院勤務

石倉 晴美さん

患者中心の創造性ある看護の探究

大学院での学びであった「探究」が現在の職務遂行の根幹となっています。先生方からご指導された「前向きで諦めない姿勢」で、今後の看護を前例踏襲ではなく、患者さん中心の創造性ある看護を探究し続けていきたいと思っています。

【修士論文テーマ 過去5年分の中から抜粋】

病院で働く助産師の配置転換がキャリア成熟に及ぼす影響（看護管理学）

急性期病院における中堅看護師の職務遂行へのプロアクティビティ（看護管理学）

妊娠後期及び産後1か月の母親のレジリエンスと産後抑うつ状態の関連（助産学）

バースレビューによる産褥早期の女性の自尊感情の変化と影響要因（助産学）

高度救命救急センター初療室における看護師の家族に対する悲嘆ケアと課題（急性期看護学）

ICU 看護師の植込型補助人工心臓装着患者への生きる希望を支える看護（急性期看護学）

接触感染予防のための病床における効果的な環境清拭方法の検討（感染看護学）

高齢者地域の急性期中規模病院における感染症疑い患者に対する看護師の認識から得られた看護実践（感染看護学）

医療的ケアが必要な在宅療養児の成長発達を促す支援に関する訪問看護師の認識（在宅看護学）

訪問看護師の感染予防行動に影響する要因－A 県内の訪問看護師への質問紙調査から－（在宅看護学）

長期の療養を有する2型糖尿病患者のコントロール維持に関する生活調整（慢性期看護学）

糖尿病網膜症患者のものの見え方と見え方の変化に伴った対処～患者の体験を聴く、見ることを促す働きかけを通して～（慢性期看護学）

不眠の進行がん患者に足浴を実施したことによる睡眠感の変化（がん看護学）

進行型がん患者の呼吸困難感に対する「背部のタッチケアと呼吸法」の有用性（がん看護学）

博士前期課程で学ぶ Q&A よくある質問にお答えします!



Q.1 専門学校・短大卒業ですが、 大学院に進学できますか？

可能です。入学された皆さんの多くが、専門学校・短大卒業の方々です。手続きとしては、入学試験を受ける前に、出願資格認定を受けてください。詳しくは本大学院看護学研究科 HP もしくは池田キャンパス事務室 (055-253-7859) に問い合わせください。

Q.6 長期履修制度とは？

長期履修制度とは、職業を有している、または、育児、介護等に従事している等の事情により、標準修業年限（2年）で大学院教育課程の履修が困難と考えられる大学院生を対象とした制度です。3年間で在学し、3年目の授業料は免除になります。入学手続き時に申込みが必要です。

Q.2 大学院を受験したいのですが、 どのようなことから始めたらよいですか？

まずは本大学院看護学研究科 HP、大学院案内等で、指導を希望する教員のプロフィールや研究業績を見て、自分が学びたい内容が学べるかどうか確認してください。そのうえで、志望分野の教員に連絡を取り事前相談したうえで、受験するかどうかを決定してください。また、オープンキャンパス等の機会に相談も行っていますのでご参加ください。

Q.7 入学前に準備しておく よいことは？

準備としては、職場の環境調整や勤務調整をし、進学できる体制を整えることをお勧めします。具体的な受験対策は、過去の入試問題の閲覧やオープンキャンパスで確認してください。

Q.3 受験前に指導教員との相談をするには どうしたらよいでしょうか？

受験前の事前相談を推奨しております。本大学院看護学研究科 HP、大学院案内、募集要項等に掲載している志望分野の教員のメールアドレスまたは研究室直通番号で連絡・相談ができます。

Q.8 英語が苦手ですが、入試の対策は どのようにすればよいでしょうか？

一般入試では試験科目に英語がありますが、辞書持ち込み可で、基礎的な読解力をみる問題になっています。中高生のテキストから慣れていくと良いと思います。過去の入試問題を閲覧することができます。社会人入試では英語の試験はありませんが、入学後に海外文献講読が必要になることがありますので、今から準備しておくとう良いでしょう。

Q.4 オープンキャンパスはいつ、 どのようなことを行うのですか？

大学院のカリキュラムや年次スケジュール、大学院生活などについて、教員や在学生と分野ごと、または少人数で情報提供を行います。個別相談にも応じております。令和6年度は8月2日（金）、11月8日（金）を予定しています。

Q.9 出願手続きは どのようなになっていますか？

学生募集要項を取り寄せ、受付期間や受験日を確認し、出願に必要な書類等を準備します。入学検定料は指定された金融機関で納入をしてください。書類の提出は基本的に郵送ですが、出願期間の最終日のみ窓口で受け付けています。出願受付が終了次第、受験票が郵送されます。

Q.5 働きながら学ぶことは できますか？

できます。本大学院では昼間だけでなく、夜間開講科目や土曜日の集中講義があります。必要ならば長期履修制度を利用することもできます。

Q.10 入試の過去問題を見ることは できますか？

事前に本大学院池田キャンパス事務室にご連絡ください。

+ インフォメーション(博士前期課程)

● 入学科・授業料

		県内在住者	県外在住者
学 費	入学料	282,000 円 ^(注1)	470,000 円
	授業料	年 額 535,800 円 ^(注2)	
諸経費	入学後、教科書代、教材費、保険料等の費用が別途必要となりますが、 詳細については別途通知します。		

注1) 県内在住者とは入学の日の1年前から引き続き山梨県に住所を有する者をいいます 注2) 授業料は前期分を5月に、後期分を11月に各267,900円を分納

● 経済支援制度

各種奨学金制度	1. 日本学生支援機構奨学金 修学困難な学生に対し、選考を経て奨学金が貸与されます。 2. 山梨県看護職員修学資金 将来、県内において看護職員の業務に従事しようとする者で 看護師の免許を取得している者に対し、選考を経て修学資金が貸与されます。 ※詳細は、本学池田キャンパス事務室(TEL 055-253-7859)にお問い合わせください。
---------	---

● 入試情報

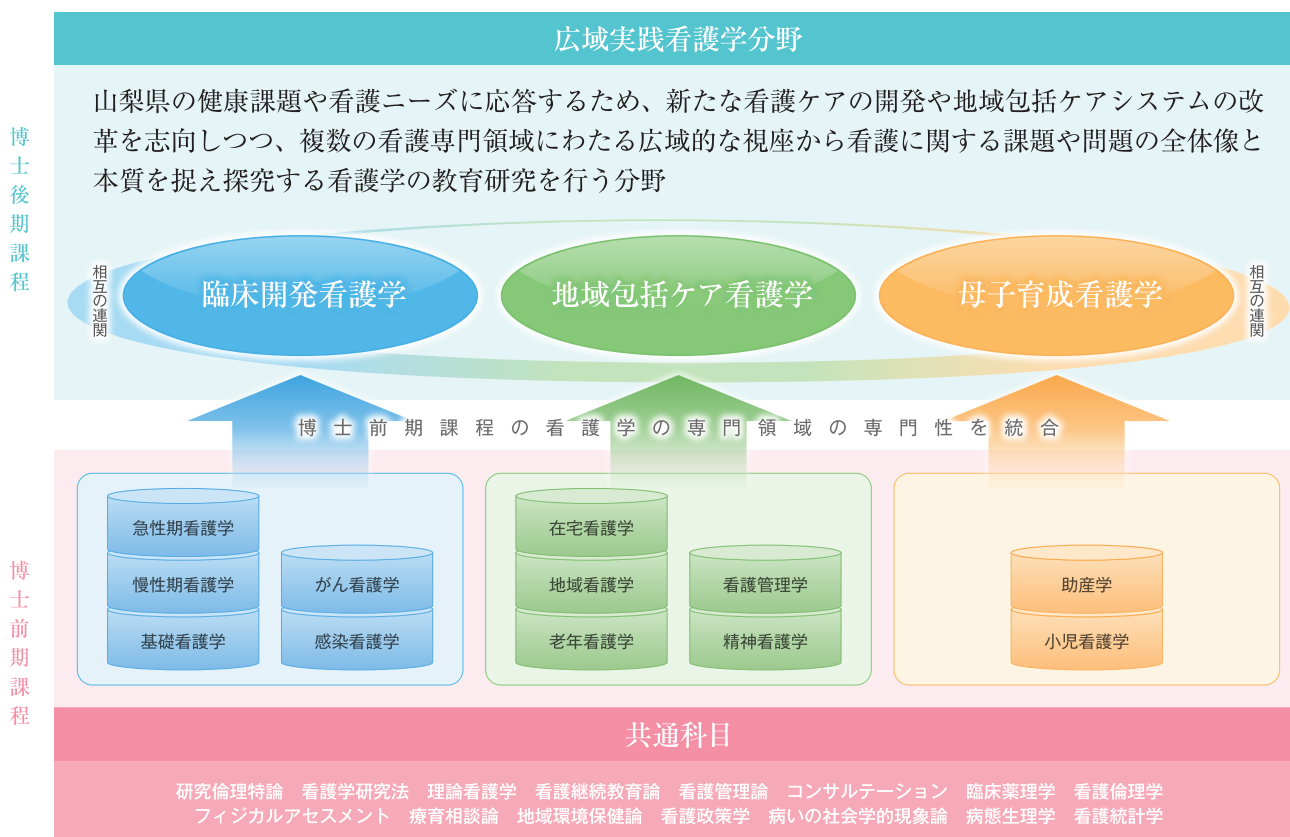
Ⅰ期入試	
出願資格認定受付期間	令和6年8月30日(金)～令和6年9月6日(金)
出願期間	令和6年9月25日(水)～令和6年10月2日(水)
入学試験日	令和6年10月12日(土)
合格発表	令和6年10月23日(水)
入学手続き期間	令和6年10月28日(月)～令和6年11月4日(月)

Ⅱ期入試	
出願資格認定受付期間	令和6年12月6日(金)～令和6年12月13日(金)
出願期間	令和7年1月6日(月)～令和7年1月14日(火)
入学試験日	令和7年1月29日(水)
合格発表	令和7年2月12日(水)
入学手続き期間	令和7年2月17日(月)～令和7年2月26日(水)

※Ⅱ期募集は行わない場合がありますので、事前に問い合わせてください。

+ 博士後期課程のカリキュラム

博士前期課程と博士後期課程との関連



● 広域実践看護学分野とは

博士前期課程の看護学分野の各専門領域の専門性を統合し、看護ケアの開発や地域包括ケアシステムの改革を志向しつつ、複数の看護専門領域にわたる広域的な視座から看護実践に関する課題や問題の全体像と本質をとらえ探求する看護学の教育研究を行う分野です。

山梨県の課題となっている医療の分化・連携の推進、医療と介護の連携の強化、小児を含む多様化する医療・看護ニーズに応答するために、それぞれが複数の看護専門領域の専門性を統合して配置しています。

臨床開発看護学・地域包括ケア看護学・母子育成看護学の各科目における看護実践の探求だけでなく、3つの領域を相互に関連させながら学ぶことで広域的な視座から新たな看護ケアの開発や地域包括ケアシステムの改革に向けた実践看護学を創造・発展させることを目指しており、科目構成は共通科目・専門科目・演習科目・研究科目となっています。

▶ 臨床開発看護学

医療機関で短期間に治療をうける急性期・慢性期の患者・家族に対し課題解決のための新たな臨床看護実践方法を探求する科目です。

▶ 地域包括ケア看護学

予防的な視点を含み地域で生活する高齢者や療養者・家族に対する地域包括ケアシステムにおいて看護実践を探求する科目です。

▶ 母子育成看護学

人口減少に歯止めをかけ安心して育児と子どもの健やかな成長を支えるための母子への支援として、生涯を通した母子とその家族のニーズに対応した看護実践を探求する科目です。



博士後期課程在院生からの メッセージ

大学院への進学を考えているあなたへ、先輩たちのメッセージをお届けします。

医療的ケア児の母親への支援を 探求したいと考えて

私は、医療的ケア児の母親への支援について課題を明らかにした上で、急性期病院で行う看護を探究したいと考えています。看護実践の場へ役立てることができるよう体系化したいと思います。仕事と両立しているため長期履修制度を活用しています。大学の先生方や職場の方々には時間調整等の配慮をして頂き、本当に感謝しています。



博士後期課程 1年（地域包括ケア看護学）

鈴木 美恵子さん

博士前期課程

博士後期課程



博士後期課程 3年（臨床開発看護学）

齋藤 大輔さん

「看護とは何か」を改めて問うために

他大学で博士前期課程を修了し、本学博士後期課程に進学しました。その理由は、臨床看護実践に基づく課題の本質を明確にし、看護の進化・深化を探究できる点に魅力を感じたからです。医療が高度化し、健康課題が複雑化する中で、「看護とは何か」を問い続け、人々の幸せを追求する問題解決能力を養うことは重要です。本学の学習環境は、自己の成長を促し、その問題解決に資する探究能力を得られる場であると実感しています。

臨床現場における看護の質の向上を目指して

専門看護師として大学病院に勤務しており、術後の高齢患者の様子からより質の高い看護実践を追究したいと考えていました。博士後期課程に進学し、先生方の熱心なご指導と同期との有意義なディスカッションから看護実践上の課題を探究する楽しさを感じています。本学の柔軟な時間割調整、オンラインシステムの整備、長期履修制度等、恵まれた学修環境に感謝し、看護の実践現場に還元できる研究を目指したいと考えています。



博士後期課程 3年（臨床開発看護学）

山崎 友香子さん

【教育課程の構成表】

授業科目		単位数		履修方法及び修了要件	
		必修	選択		
共通科目	研究倫理特講	2		<履修方法> 共通科目（必修）6単位、専門科目（選択）2単位、演習科目（必修）2単位、研究科目6単位の合計16単位以上を修得すること <修了要件> 必要な研究指導を計画的に受けた上で博士論文と査読のある学術雑誌に掲載または掲載予定（掲載証明書を提出）の副論文1編以上を提出し、論文審査ならびに最終試験に合格すること	
	看護学研究法特論Ⅰ（量的研究）	2			
	看護学研究法特論Ⅱ（質的研究）	2			
	看護政策組織特論		2		
	ケアリング特論		2		
	小 計	6	4		
専門科目	広域実践看護学分野	臨床開発看護学特講			2
		地域包括ケア看護学特講			2
		母子育成看護学特講			2
		小 計			6
演習科目		広域実践看護学特別演習	2		
	小 計	2			
研究科目		看護学特別研究	6		
		小 計	6		
合 計		14	10		



+ インフォメーション(博士後期課程)

● 入学料・授業料

		県内在住者	県外在住者
学 費	入学料	282,000 円 ^(注1)	470,000 円
	授業料	年 額 535,800 円 ^(注2)	
諸経費	入学後、教科書代、教材費、保険料等の費用が別途必要となりますが、 詳細については別途通知します。		

注1) 県内在住者とは入学の日の1年前から引き続き山梨県に住所を有する者をいいます

注2) 本学大学院の博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に入学する場合は入学料は全額免除となります。

注3) 授業料は前期分を5月に、後期分を11月に各267,900円を分納

● 経済支援制度

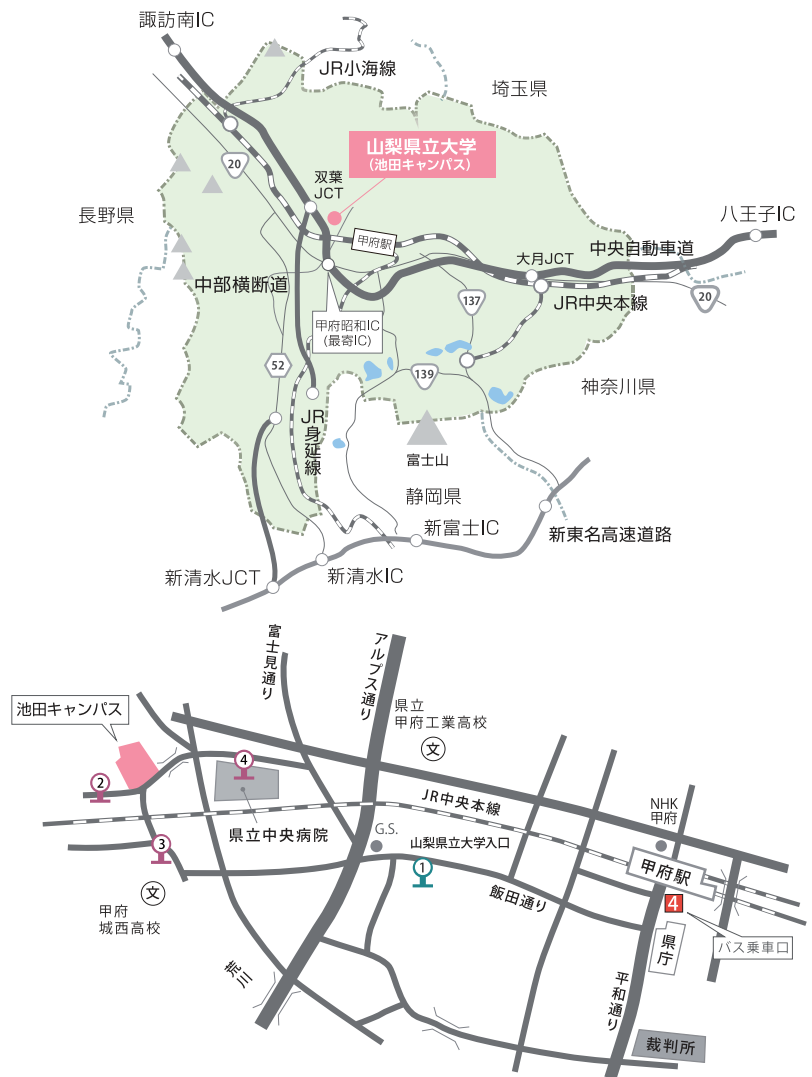
日本学生支援機構 奨学金	修学困難な学生に対し、選考を経て奨学金が貸与されます。 ※詳細は、本学池田キャンパス事務室(TEL 055-253-7859)にお問い合わせください。
-----------------	--

● 入試情報

Ⅰ 期入試	
出願資格認定受付期間	令和 6 年 8 月 30 日(金)～ 令和 6 年 9 月 6 日(金)
出願期間	令和 6 年 9 月 25 日(水)～ 令和 6 年 10 月 2 日(水)
入学試験日	令和 6 年 10 月 12 日(土)
合格発表	令和 6 年 10 月 23 日(水)
入学手続き期間	令和 6 年 10 月 28 日(月)～ 令和 6 年 11 月 4 日(月)

Ⅱ 期入試	
出願資格認定受付期間	令和 6 年 12 月 6 日(金)～ 令和 6 年 12 月 13 日(金)
出願期間	令和 7 年 1 月 6 日(月)～ 令和 7 年 1 月 14 日(火)
入学試験日	令和 7 年 1 月 29 日(水)
合格発表	令和 7 年 2 月 12 日(水)
入学手続き期間	令和 7 年 2 月 17 日(月)～ 令和 7 年 2 月 26 日(水)

※Ⅱ期募集は行わない場合がありますので、事前に問い合わせてください。



県外からの
アクセスも
良好

新宿から120分
松本から 90分

池田キャンパス (看護学部・大学院看護学研究科)

〒400-0062 山梨県甲府市池田 1-6-1
TEL.055-253-7780 FAX.055-253-7781



アクセス

◎ JR 甲府駅南口バスターミナル 4 番のりば

● 中央病院経由双葉ニュータウン行き
「県立大学看護学部」下車②徒歩約3分

● 長塚経由双葉ニュータウン行き

● 長塚行き

● 長塚経由敷島営業所行き

「甲府城西高校」下車③徒歩約5分

● 中央病院行き

● 中央病院・羽黒経由山宮循環行き

「県立中央病院」下車④徒歩約8分

山梨県立大学大学院看護学研究科HP

<http://www.graduatnursing-yamanashiken.com/>

